

令和元年 5月 17日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 [REDACTED]
団体名 NPO 法人 生活文化ルネッサンス [REDACTED]
代表者氏名 原 田 雅 顕 [REDACTED]

平成30年5月14日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
事業費総額	111,647 円
事業期間	自 平成30年 5月 14日 至 平成31年 3月 31日
実施場所	NPO法人 生活文化ルネッサンス 管理地
参加者数	① 5月20日・6月3日 播種・苗植付 累計31人(地域の方々と) ② 7月1日・9月2日 草取り 累計21人(地域の方々と) ③ 9月15日・16日・17日・22日・23日・24日 彼岸花案内所開設 ④ 9月24日 1坪ガーデニングコンテスト実施 来訪者150名 ⑤ 11月 播種(菜の花)、⑥2月 播種(朝顔) NPO メンバー5人
事業実施内容及びその成果	NP0管理地で実施している圃場において、花の播種・苗の植付を地域の方々と共に実施した。日向地域の彼岸花期間では、敷地内に市観光協会との協働で案内所を設け、地域のご婦人方(NPOメンバー)の協力を得て案内を行った。訪れた方々との交流は、皆さんに喜ばれ、リピーターが増えている。初めて見えた方々も多く、遠方から見えていることが認識でき、次年度に向けての方向性を把握することができた。また、地域の方々の野菜を販売し、好評だった。 市の花「桔梗」も更に増殖し、益々見ごたえが出てきている。 今後もコミニティの場として、更なる充実を図って行きたい。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
団 体 名	NPO法人 生活文化ルネッサンス

収入の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
市補助金	50,000	伊勢原市協働事業採択補助金
主催者負担	61,647	
収入合計額	111,647	

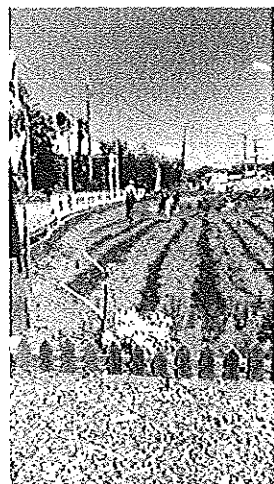
支出の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
花の苗	13,584	ハーブ苗
圃場設備費	28,715	朝顔垣根の竹、ポール等
圃場整備費	20,034	耕運時施肥（肥料代）
飲物代	11,582	ペットボトル(熱中対策用)
昼食代	30,483	作業に参加者の地域の方々へ
消耗品費	3,519	工具・軍手 他
イベント賞品	3,730	コンテスト賞品代
支出合計額	111,647	

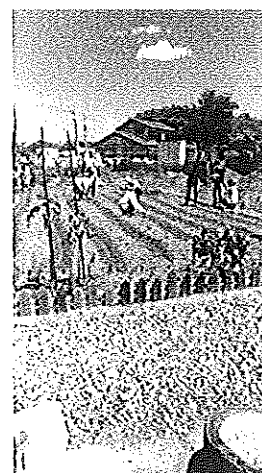
2018年度 活動記録（NPO法人生活文化ルネッサンス）

● 5月

<菜の花の種の養生>



<コスモスの種蒔き>



<ハーブ苗の植栽>



●6月



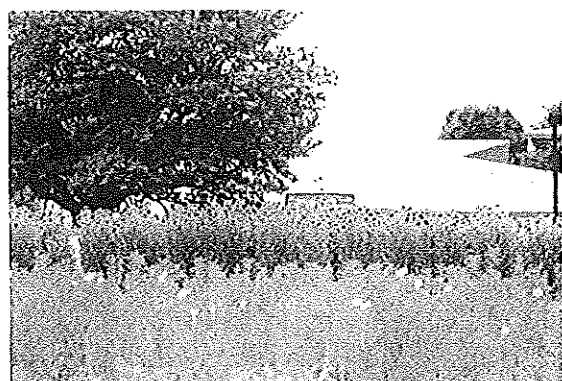
＜桔梗の手入れ
草取り＞



＜朝顔の棚作り＞

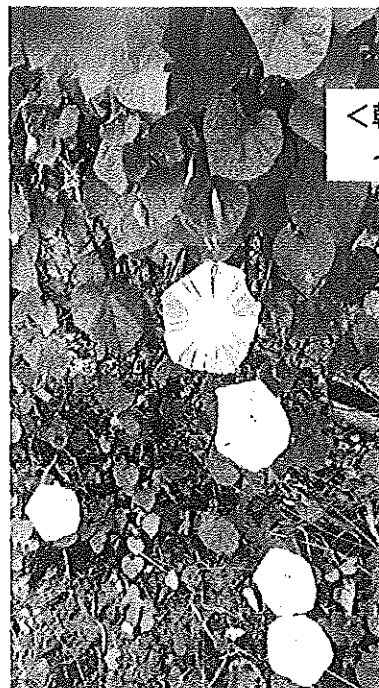
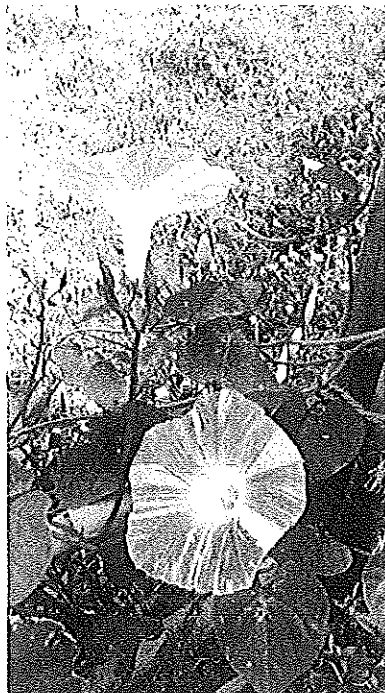
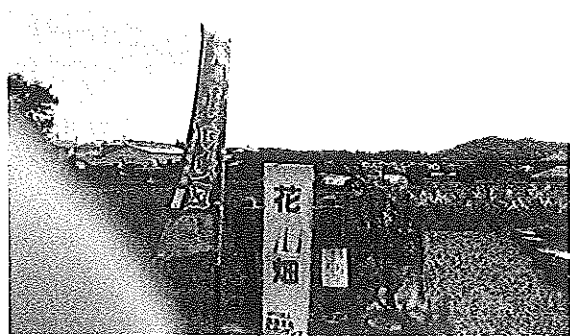
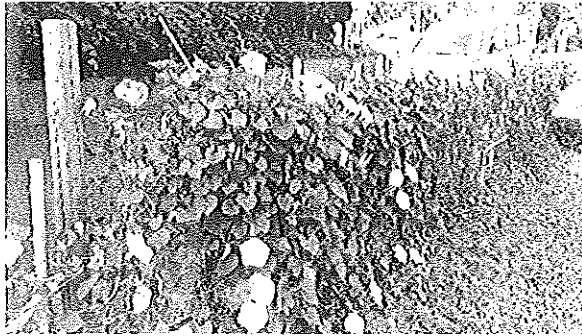


桔梗の花・・・
色々な花が咲きました



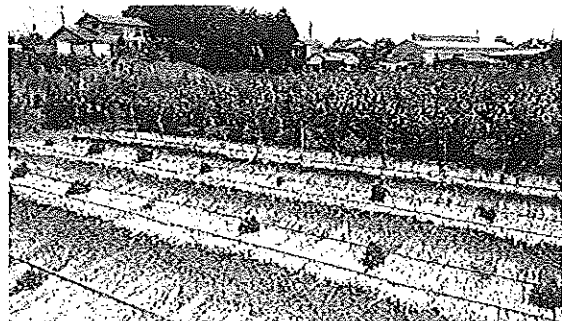
●7月

<朝顔が咲きました>



<朝顔は、10月中旬まで開花していました>

<菊の植栽>



●8月

<草取り実施>

●9月

<コスモスが見ごろ>

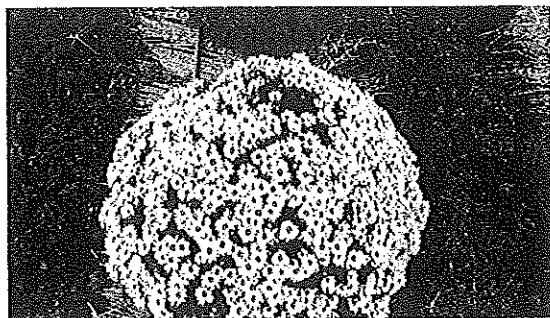


<彼岸花の観光案内所>

彼岸花の観光案内所で、地域の方々の野菜を販売。大変好評でした。

●10月

<菊が開花しました>

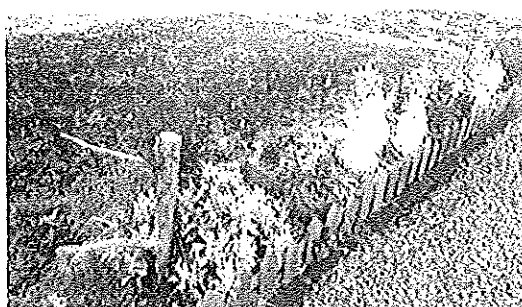


<コスモスの種取り> <菜の花の種蒔き>

●11月・3月

<葉ボタンの植栽>

<キキョウの移植>



日向・里地里山づくりプロジェクト 一花でつなぐ人と人ー 事業評価シート(案)

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒企画の段階から ☐実施段階から ☐その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒市民活動団体 ☐市 ☐その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒はい ☐いいえ 意義〔観光地としての日向地域の価値をさらに高めることが出来る。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目的〔日向地域の景観を美しくするとともに、人々の交流を促進し、本市の観光振興の発展並びに地域の活性化に貢献する。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目標〔未耕作地の景観整備を行い、人々の交流を促進することで、本市の観光振興並びに地域の活性化に寄与する。〕 6. 相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕
実施段階	7. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕 8. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕 9. 進捗状況や情報を共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕 10. 実施プロセスの記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕 11. 互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由〔地域の住民による事業を展開することで、人々の交流を促進し、本市の観光振興の発展並びに地域の活性化について効果が得られたものとする。〕
終了後の段階	12. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 () 〕 13. 目的・目標は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔花の播種や苗の植え付けなど、地域住民と共同で実施することで、交流することができた。また、彼岸花の時期に観光案内所を設置し、来訪者と交流することでリピーターも増えているため。〕 14. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由〔事前周知や会場への案内を課題とし、市はHP・広報・SNSでの周知活動を行っていく。〕 15. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 ⑤ 4 3 2 1 】 理由〔本市の観光振興におけるPR面で十分に貢献している。〕 16. その他、気づいた点